

令和6年度豆類需要促進研究 成果報告会の御案内

(公財)日本豆類協会

日本豆類協会は豆類に関する学術の振興を事業の柱の1つとして実施しています。この度、豆類の需要促進を目的として公募により実施している調査研究課題から5課題について、成果報告会を開催します。

豆類に関心をお持ちの研究者・学生の皆さん、豆類の実需者・関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 開催日時

令和6年10月10日(木) 13時30分～16時30分

2. 開催場所

航空会館ビジネスフォーラム

(〒105-0004 東京都港区新橋1-18-1 航空会館)

リモート配信有り

3. 次第

(1) 開会

(2) 主催者挨拶

(3) 発表

「乾燥子実いんげん豆の活用」(13:40-14:05)

武内純子氏 流水の丘カンパニー／前 (公財)オホーツク財団研究課長

「ひよこ豆を原料とした豆茶の開発」(14:05-14:30)

日渡美世氏 あいち産業科学技術総合センター企画連携部企画室

「各種小豆原材料の粉体加工利用」(14:30-14:55)

本間紀之氏 新潟県農業総合研究所食品研究センター食品工学科 科長

「小豆成分がヒト腸内細菌叢に与える影響」(15:10-15:35)

稲垣瑞穂氏 岐阜大学応用生物科学部准教授

「小豆餡摂取による腸内細菌叢を介した健康増進効果」(15:35-16:00)

永田龍次氏 帯広畜産大学生命・食料科学研究部門助教

(まとめ)「小豆・いんげんまめの生産状況と品種改良の現場から」

(16:00-16:15)

堀内優貴氏 (地独)北海道立総合研究機構十勝農業試験場主査 (小豆
菜豆)

(4) 閉会挨拶等

(閉会后、名刺交換・情報交換の時間帯を設けます。)

● 4. 定員

会場参加30名。先着順です。リモート配信もします。(対面参加30名、リモート参加80名。定員を超えて申込みがあった場合は先着順とします。)

● 5. 主催及び後援

主催：(公財)日本豆類協会

後援：(一社)全国豆類振興会、全国穀物商協同組合連合会、日本製餡協同組合連合会、全国和菓子協会、全国調理食品工業協同組合、全国甘納豆組合連合会、(一社)日本ピーナッツ協会、全国フライビーズ組合連合会、雑穀輸入協議会

● 6. 参加費用

無料

● 7. 参加申込み

協会ホームページよりお申し込みください。締切は10月3日(木)ですが、定員を超えた申込みがあった場合は期限前でも締め切ります。

<https://www.mame.or.jp/>

● 8. お問い合わせ先

企画調査部 山本

電話：03-6268-8627 E-mail：s-yamamoto@mame.or.jp